



苅田町青少年育成町民会議だより



▲受付時



▲参加者

第13回 ふれあい ウォークラリー大会開催時

全国一斉ウォークラリー大会

主催=（財）日本レクリエーション協会、都道府県レクリエーション協会、市区町村レクリエーション協会
後援=文部省、日本赤十字社、厚生省、環境省、（財）日本宝くじ協会、（財）日本スポーツ振興センター



大人が変われば、子どもも変わる

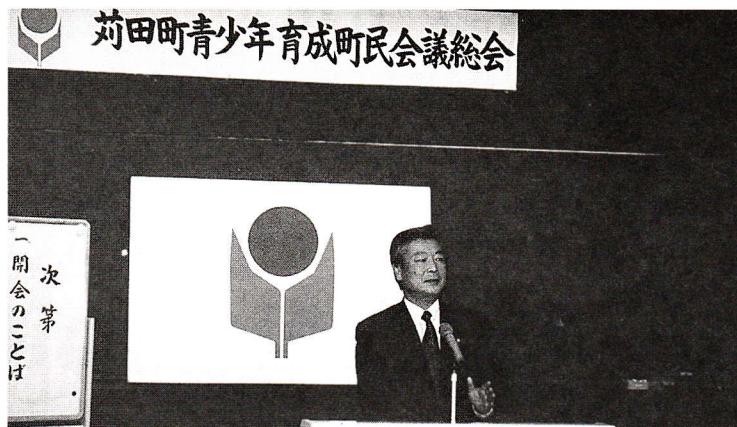


▲スタート時



▲田植え体験

第14回苅田町青少年育成町民会議総会



平成14年4月26日(金)6時30分より
り苅田中央公民館第5研修室にお
いて第14回苅田町青少年育成町民
会議総会が開かれました。来賓と
して行橋警察署生活安全課服部課
長、苅田町議会沖永議長が出席さ
れました。

当日の出席者は、64名、委任状
46名でした。

刈田町青少年育成町民会議 会長伊塚工挨拶

平成14年度の主な事業

| | | |
|-------|--------------------|-----------------|
| 4月6日 | (生徒指導研修部会) | |
| 17日 | 少年を守る日補導 (補導環境部会) | 3日 (健全育成部会) |
| 26日 | 第14回総会 (全部会共通) | 家庭シンポジウム (家庭部会) |
| 5月15日 | 少年を守る日補導 (補導環境部会) | 家庭の日・オアシス運動作品 |
| 18日 | 第13回ふれあいウォークラリー大会 | 入選者表彰 |
| | | （健全育成部会） |
| 6月中 | 青少年を非行から守る全国強調月間 | 社会を明るくする強調月間 |
| 6月19日 | 青少年を守る日補導 (補導部会) | （健全育成部会） |
| | 港まつり花火大会補導 (全部会共通) | （健全育成部会） |
| 7月10日 | 広報紙「すこやか」第38号発行 | （家庭部会） |
| 7月10日 | 家庭の日・オアシス運動作品募集 | （家庭部会） |
| 7月10日 | 少年を守る日補導 (補導環境部会) | （家庭部会） |
| 7月17日 | 健全育成講演会 (総務部会) | （家庭部会） |
| 7月20日 | 有害図書・図画等に対する要望書提出 | （家庭部会） |
| 7月27日 | 少年非行・シンナー等薬物乱用 | （家庭部会） |
| 8月10日 | 防止研修会 (補導環境部会) | （家庭部会） |
| 8月17日 | 少年を守る日補導 | （家庭部会） |
| 8月28日 | 盆おどり大会補導 (全部会共通) | （家庭部会） |
| 9月 | いじめストップ強調月間 | （家庭部会） |
| 18日 | いじめストップキヤンペーン | （家庭部会） |
| 10月6日 | 少年を守る日補導 (補導環境部会) | （家庭部会） |
| 16日 | 神幸祭補導 (全部会共通) | （家庭部会） |
| 10月6日 | 少年を守る日補導 (補導環境部会) | （家庭部会） |
| 18日 | 少年を守る日補導 (補導環境部会) | （家庭部会） |
| 19日 | 少年を守る日補導 (補導環境部会) | （家庭部会） |
| 19日 | 春休み特別補導 (補導環境部会) | （家庭部会） |
| 3月10日 | 広報紙「すこやか」第40号発行 | （家庭部会） |
| 1月 | 大原八幡神社・港こんぴら宮 | （家庭部会） |
| 1月 | どんど焼き補導 (補導環境部会) | （家庭部会） |
| 1月 | 少年を守る日補導 (補導環境部会) | （家庭部会） |
| 1月 | ふれあいマラソン大会 (全部会共通) | （家庭部会） |
| 2月2日 | 白庭神社どんど焼き補導 | （家庭部会） |
| | | （家庭部会） |
| 3月10日 | （生徒指導研修部会） | （家庭部会） |
| 11月 | 全国青少年健全育成強調月間 | （家庭部会） |
| 3日 | 子どもそば打ち道場 | （健全育成部会） |

私の街再発見 21世紀 海と空に延びる苅田 第13回 ふれあいウォークラリー大会

5月18日(土)港まつり会場で主催
苅田町青少年育成町民会議健全育成部会・財日本レクリエーション協会によるふれあいウォークラリー大会が開催されました。



「私の街再発見、21世紀海と空に延びる苅田」のテーマのもと幼児から74才までの約100人の人が港まつり会場をスタートにして、五月晴れの空のもと、花一杯の港や苅田駅前「希望のカリオン」など21世紀に、海と空から羽ばたく未来の苅田を思い描きながら、時には迷つたりしながらも楽しく歩きました。

また、片島の戸早学園からも多くの生徒が参加され、ゲームに交通指導など活躍し、さらに一般参加者のチームと合流して一緒に歩きながら住民との交流にと大活躍でした。



入賞チームは次のとおりです。

4kmコース

- 一位 深江公一チーム
- 二位 重藤泰之チーム
- 三位 吉原太美チーム

6kmコース

- 一位 安井照美チーム
- 二位 麦田和寿チーム
- 三位 安田顕孝チーム

7月は青少年を非行から守る強調月間 この機会に自分・地域の子どもを見直しましょう



補導環境部会では、毎月第3曜日に「少年を守る日補導」その他の「春休み特別補導・夏休み特別補導・年末特別補導」など補導活動を行っています。今年度から学校週5日制が実施され子どもの活動範囲が広まります。また特別補導には、各小・中学校生徒指導の先生も参加して補導活動を強化しています。今後も地域・学校等連携を強め補導活動を進めています。また地域の方々のご理解とご協力を願いいたします。

補導環境部会

【家庭部会】

◎オアシス(あいさつ)運動
児童・生徒の「あいさつ運動」を推進目標に掲げ各学校の「朝立ち運動」にも参加をし、積極的にこの運動を盛り上げていきます。

おじいちゃん・おばあちゃん、そして、お父さん・お母さん子どもたちに逢ったら優しい一言、声をかけてください。

健全育成講演会

平成14年7月20日(土)
三原文化会館大ホール

13時30分受付 無料

テーマ

「地域・家庭・学校の協同で育てる青少年」
—生涯学習社会における青少年の育成—
講師 古市勝也
九州女子短期大学教授 社会学博士





青少年アンビシャス運動



アンビシャス運動の推進

苅田町（福岡県全域）では、将来の夢を持ち、その実現に向かって努力する人間性豊かなたくましい青少年（アンビシャスな青少年）の育成を目指す「青少年アンビシャス運動」に取り組んでいます。この運動に取り組んだ背景は、子どもたちの現状や社会の大きな変化があります。不登校やいじめ、非行問題、夢や目標をもつてない子どもたちの増加など、青少年をめぐっては厳しい現状が指摘されます。

少子化、核家族化、都市化の進展等によって地域の中で子どもたちが様々な人と交流したり体験を重ねながら、豊かな感性、マナー、ルール、自発性や創造性など大切な素養を生むことが難しくなっています。

また、平成14年度から公立学校週5日制が実施されています。子どもたちにゆとりの中で様々な体験を積み重ねてもらい、豊かな人間性やたくましい体力を育んでもらおうとする学校週5日制のねらいを生かす環境整備が必要です。

こうしたことを踏まえて、苅田町・苅田町教育委員会・苅田町青少年育成町民会議では、このアンビシャス運動を推進します。

『馬場校区アンビシャス広場開設』

7月より馬場小学校・京町公民館・馬場公民館・港公民館で町内始めてのアンビシャス広場が開設します。

ところで「広場つてどんなところ？」

アンビシャス広場は、子どもたちが放課後や休日に気軽に立ち寄って友達と遊んだり、本を読んだり、物を作ったり、自由な発想で思い思ひのことができる居場所です。

「開いている日は？」

毎週火曜日 馬場小15時より18時まで
毎週土・日曜日 馬場公民館・港公民館

京町公民館9時から12時まで

▶6月15日(土)苅田口一タリーカラブ主催で育成会連合会の子ども達が田植え体験学習を丸谷寿代さん所有の水田をお借りして行われました。



【連絡先】

馬場校区アンビシャス広場 代表者 田口朝子 ☎ 090・4589・3200
苅田町教育委員会生涯学習課 ☎ 093・434・2044

「田植え」を体験して
池田 田しうう平
ぼくは、田植えをしました。やり方がわからなかつたけど、おじちゃんに教えてもらいました。初めてでとても楽しかったです。

「はじめての田植え」
米間 ともか
わたしは、はじめて田植えをしました。最初入るとき、土は、もうすぐそばにあるのに、足を入れたとたんにズツ、ズズズと入つてきとてもびっくりしました。植えるとき「2・3・4・5本ぐらい」と言われたので数えながら植えました。「植える深さは2センチです」と言えながら植えました。「植えられたけどなかなか難しい。ひ

地域のみんなで夢・希望・自信を持つたアンビシャスな子どもを育てよう。あなたの「やる気」「元気」「根気」をお貸しください。推進ボランティアは、放課後、アンビシャス広場に集まつてくる子どもたちを温かく見守つてくれるだけでOKです。もしよかつたら、一緒に遊んだり、宿題をみたりおしゃべりをしたり、あなたの特技、才能をいかし○○を教えたり、行事やイベントのスタッフ、指導者になつていただけませんか。あなたの都合のよい時間でお願いいたします。

広場推進員・ボランティア大募集！

ふ
れ
あ
い

インタビュー (18)

苅田中学校クラブ紹介

◆プラスバンド部 (五十七名)

目標は、みんなで仲良くステキなハーモニーをつくることです。今年の年間行事は、港祭り、体育祭、文化祭、小中高連合音楽会に参加することと、吹奏楽コンクールで頑張って、精一杯の演奏することです。



をしています。これからも色々な作品づくりや、料理にチャレンジして、コンテストにも応募してみたいと思っています。

◆陸上部 (五十七名)

県大会を目標に毎日練習に励んでいます。

★県大会出場決定

- 走り高跳び
- 一一〇mハーメードル
- 低学年四百mリレー

◆剣道部 (五名)

一年生部員ばかりです。一つひとつの大會に向けて「心・技・体」の精神でがんばります。

◆美術部 (十六名)

「自分らしい表現方法を発見し、個性の伸長をはかる」を目標に毎日、楽しく作品づくりに取り組んでいます。一年生がとても仲良く、作品についてのアドバイスの交換などもできています。今は、ポスターの製作に取り組んでいます。文化祭で

少ない人数ですが、みんなで楽しく活動しています。主な活動は手芸と調理です。いまは、ティベア作りと月に2回のお菓子作り

サッカー練習



◆サッカー部 (二十八名)

僕たちサッカー部は、「県大会出場」を目標に厳しい練習に耐えながら、日々頑張っています。苅田中代表として一生懸命戦って行き

◆女子ソフトテニス部 (四十二名)

部員数が各学年とも多く、活気あります。夏の大會に向け頑張っています。

夏の中体連に向け、毎日暑さに負けず練習に取り組んでいます。いつも「おとなしい」と言われてるので今は、基本的に帰り積極的に動くよう気を付けています。応援してください。

◆卓球部 (三十五名)

目標は、県大会出場を、県で一つでも二つでも勝つこと。できれば決勝に進みたいと思っています。

スローガンは「質実剛健」にしてあります。応援よろしくお願いします。

員 部 球 駅



◆男子バスケット部 (二十八名)

「一心精錬」(全員が心を一つにして日々一生懸命練習にはげむこと)をスローガンに、バスケットボールの基本技術の習得をめざすとともに中学生としての規律を守り礼儀・責任・協力などの、望ましい態度を養うことを、心がけています。

部 駅 球 部



◆女子バスケット部 (十七名)

「感謝・感激・感動」の心を目指して、「やる気・元気・根気」を

もつとともに中学生としての規律を守り礼儀・責任・協力などの、厳しい練習に励みます。

◆野球部 (四十一名)

県大会を目標に三年生を中心

◆リード部 (二十名)

先輩、後輩の枠があまりなく和気あいあいと活動しています。入学式や卒業式をはじめとする学校行事や、保育所との交流を行っています。

ますので応援宜しくお願ひします。

◆男子バレー部 (八名)

僕たち、男子バレー部は、少ない人数ながらも顧問の先生や、OBの先輩達に支えられながら頑張ってきました。県大会出場を目標に、精一杯頑張りますので、応援

◆文化祭、小中高連合音楽会に参加することと、吹奏楽コンクールで頑張って、精一杯の演奏することです。

◆家庭科部 (八名)

少ない人数ですが、みんなで楽しく活動しています。主な活動は手芸と調理です。いまは、ティベア作りと月に2回のお菓子作り

あなたは、お子さまのことをどれだけ知っていますか？ (我が子の理解度チェック)

家族でやってみよう！ ビシゴゲーム

人にはそれぞれ、誰にも知られたくないものがあります。あなたのお子さまにも、家族に知られたくないプライバシーがあります。このbingoゲームでは、子育てをする上で知っておいた方がプラスになるものをあげています。決してプライバシーを侵害するのが目的ではありません。親子で話し合いながら楽しくチェックしてみましょう。



ビンゴゲームはいかがでしたか。縦、横、斜め、いくつそろったでしょう。家庭菜園にたとえてみると……

0~3 蒔いた種から、芽が
出ています。肥料や
水を忘れないように。

4~7

順調に育っています
このまま大切に育て
ましよう。

8~10

収穫間近です。今年
も豊作です。

編集・発行
刈田町青小
すこやか編

成町民会議
員会
（内線390
4・11111

| | |
|------|------------|
| 委員長 | 平成14年度編集委員 |
| 千原 | 黙 |
| 浜田 | (総務) |
| 永岡 | いさ子 |
| 田畠 | (総務) |
| 山田 | 重子 |
| 山本 | 弘志 |
| 節子 | (総務) |
| (家庭) | (健全育成) |
| (補導) | (総務) |
| 隆 | (総務) |

連が、今の明るさと素直
事なく、いじめや暴力等
にも被害者にもならず、
に成長してほしいと願い
」が少しでもそのお役
うと願うものです。

子ども達の歓声が風に乗って聞こえてくる。下校する小学生の一人らしい。

青少年に対する健全育成への熱意がつたわりました。これからも親しみのある「すこやか」の発行に尽くしたいと思つています。

初めての編集に参加させていた
編集後記